

ベトナムの女の子フリーちゃん

吉原 洋子

私は毎週水曜日に電車で東加古川まで木目込み人形の教室に通っている。

ある日のこと私が電車のいつもの席に座っていると、かわいい女の子が「この電車、加古川に行きますか」と尋ねてきた。私は「行きますよ」と言い、「どこまで行くの」と問いかけると「堺市までです」と言った。私は「どうぞ」と言うと、彼女は私の隣に座った。

少しアクセントの違う日本語だったので「どこの国から来たの」と問いかけると「ベトナムのフエからです。知っていますか」と言われたので「知っているよ、ベトナムには何度か行ったよ。食べ物がとても美味しいよね」と言うと彼女はとても喜んだ。彼女は昨年就職のため友人三人と日本に来た。彼女は堺市の食肉工場に勤めているが、西脇市内で働いている友達に会うために休みの日に来ていたのだ。「どうして日本に来たの」と聞くと指で丸を作った。どうも給料がいいかららしい。毎月の給与から十万円を両親に送っているそうだ。両親はフエで小魚を捕って生活しているが、家はとても貧しいのと言っていた。

加古川に着くまでに、一緒に写真をとっていいと言われ、記念に写真をとった。写真を送るのでラインを教えて欲しいと言われた。少し不安な私もいたが、話をしていて信頼してみようと思う私もいた。その夜「今日はありがとうございました。楽しかったです」というラインが届いていた。嬉しかった。

それから毎週水曜日に車で彼女が待っていた。電車での一時間が楽しくなった。彼女はベトナムから一緒に来た友達のことや、仕事のこと、家族のこと、自分の夢など色々な話をしてくれた。仕事は週に一度休みがあり、会社の寮でベトナムから来た仲間と三人一室で暮らしていると言った。食事は同室の三人で順番にベトナム料理を作っているそうだ。ベトナムから来ていると言っても地域が違うと味が全然違うのと笑っていた。将来は英語を勉強してアメリカに行きたいと言っていた。英語の勉強法や日本語の勉強法も話してくれすごく頑張っているのがよく分かった。

正月に西脇に来るなら、わが家においてと言っていたが、それからしばらく彼女と会うこともなく、連絡もしてこなかった。

久しぶりに彼女が車で待っていた。今までは違う元氣のない彼女だった。「どうしたのだろう」と思ったが、何も聞かなかった。それを最後に、彼女と会うことはなかった。

日本で元氣に頑張っているのだろうか。それとも、住んでいる地域で友達が出来たのだろうか。幸せに過ごしているか。良いが…。

彼女と会ってから西脇にいる多くの国の人のことを思った。会えばできるだけ「今日は」と声を掛けた。「どこから来ているの？日本語分かる？英語は？」と聞くようにしている。私のカタコトの英語で話が出来ればなんだかとても嬉しいし、とても楽しい。あたらしい出会いがあれば、もっと西脇のことや、日本のことを知って貰いたいと思う。